

業務部報

国 労 水 戸 地 方 本 部

発行責任者 埜 正人

編集責任者 業 務 部

今回のプロジェクト会議は検証までを意識して

一つは『常磐線全線開通』

二つに『台風災害における水郡線の不通区間』

三つに『オリンピック・パラリンピック関連』等について話し合った

【特徴的には・・・】

○東京電力第一原子力発電所事故から トリチウムと廃炉作業となり、実場面からは、敷地内となっている。

○常磐線の全線開通においては 原町～仙台間など降雨による規制や強風等、事前に運行本数の規制が行われ、会社も早目の対応をしている。この関係では接続関連などで対応する内容が発生している。

○小動物の関係について

○水郡線については、バスと列車の乗継に不便さがあった。この大子駅からの乗継場面は解消された。

○旅行関係からは、どの様な変化が見えてくるかは今後にも

○冬季場面において、乗継が発生する大子駅の待合室が寒い。寒い中で待っているお客さまの姿がある。

○オリパラについては、世論調査から7割ほどが中止に受け取れる内容

○JRは希望者が応援に・。JESSは希望者ではなく携わる

○応援に行く方の職場における平常時の勤務体制

○Rock in Japanとオリンピックが三日間重なる状況といわれている等々

※検証については『常磐線全線開通』から、9月頃に予定となった

国労は何でも相談に乗ります。気軽に声をかけて下さい。

国労水戸地本 029-221-4008 労働相談 090-5862-0745

